

アンケート調査結果の概要

美術館系文化施設における情報システムの利用状況と課題について大まかな傾向を把握するためにアンケート調査を実施した。

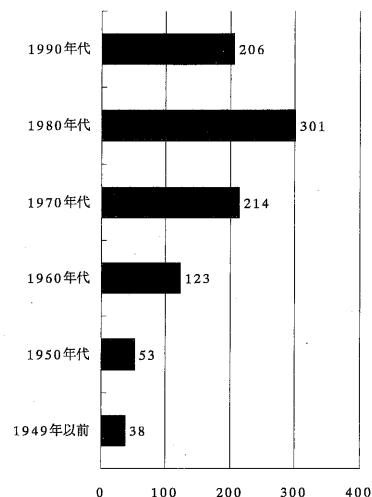
アンケート票は次にあげる全国の美術館、美術館係博物館、科学博物館計1,795施設を対象に郵送により配布・回収した。実施時期は、1996年9月。有効回収数は、「施設概要についての質問回答票」952件（回収率53.0%）、「情報システムについての質問回答票」837件（回収率43.6%）である。

- ・「全国美術館ガイド」（美術手帖1995年10月号増刊）所収の美術館、美術に関係のある博物館、民芸館、考古館、郷土館、民俗館、宝物館など1,521館
- ・全国科学博物館協議会加盟の科学博物館226館
- ・当財団の独自資料に基づく1995年10月以降に開館した公立美術館48館

施設概要について

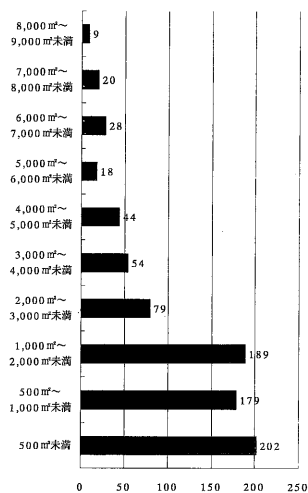
1. 開館年

開館年については、「1980年代」とする回答がもっとも多く301館（この項目について回答があったなかの32.2%）、次いで「1970年代」214館（22.9%）、「1990年代」206館（22.0%）となっている。1970年代以降に開館した館が回答全体の8割近くを占めている。



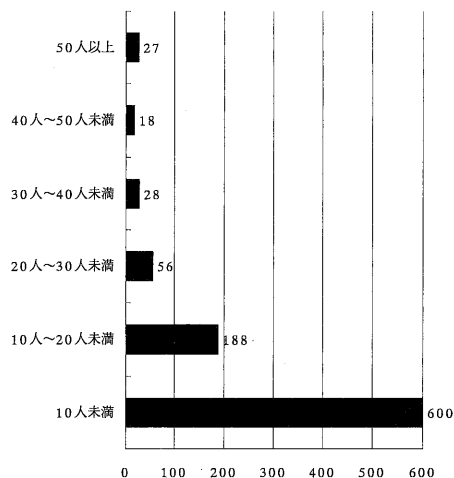
2. 延床面積

延床面積については、「500㎡未満」とする回答がもっとも多く202館（22.4%）、次いで「1,000㎡～2,000㎡未満」189館（21.0%）、「500㎡～1,000㎡未満」179館（19.8%）となっており、2,000㎡未満の館が回答全体の6割以上を占めている。



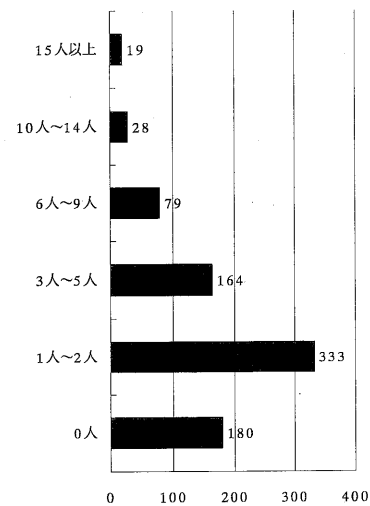
3. 職員数

職員数については、「10人未満」とする館が600館と回答全体の65%を占めた。「10人～20人未満」の188館を加えると、回答全体の86%が職員20人未満の館である。



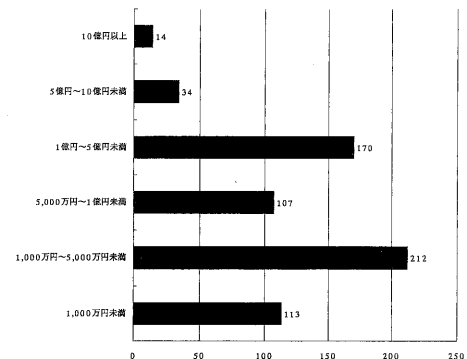
4. 学芸員数

学芸員数については、「0人～2人」と回答した館が513館で回答全体の61%を占めた。もっとも多かったのは「1人～2人」という回答で333館（39.6%）であった。若干の前後はあるものの、学芸員の人数が増えていくにしたがって回答数が減少する傾向が見られる。



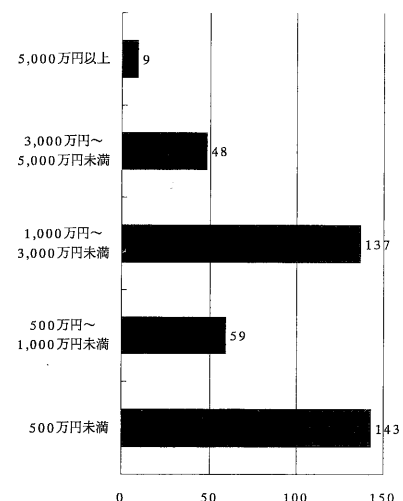
5. 年間予算

年間予算については、「1,000万円～5,000万円未満」と回答した館が212館（32.6%）、次いで「1億円～5億円未満」が170館（26.2%）あり、この2つの層を中心として、「1,000万円未満」113館（17.4%）、「5,000万円～1億円未満」107館（16.5%）が続いている。



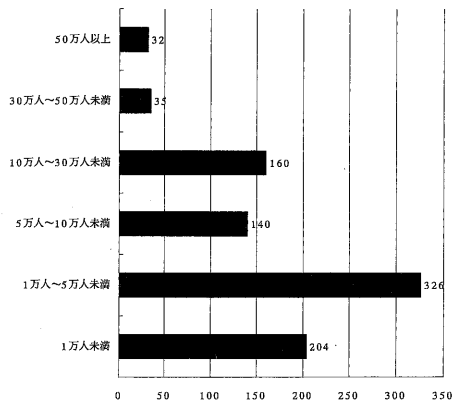
6. 年間事業予算

事業予算では、「500万円未満」と回答した館が143館（36.1%）、「1,000万円～3,000万円」が137館（34.6%）で、両極化の傾向が年間予算の場合よりもはっきりとあらわれている。



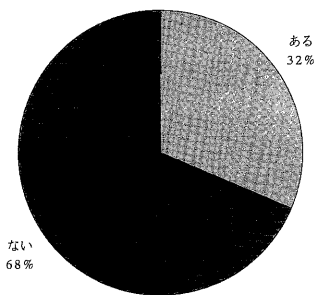
7. 年間入場者数

年間入場者数については、「1万人～5万人未満」と回答した館がもっとも多く326館（36.3%）、次いで「1万人未満」が204館（22.7%）、「10万人～30万人未満」が160館（17.8%）、「5万人～10万人未満」が140館（15.6%）であった。



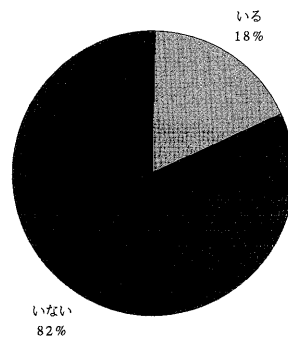
8. 友の会

「友の会（または類似の組織）」については、回答があった館931館の約3割に当たる295館が「ある」と答えている。



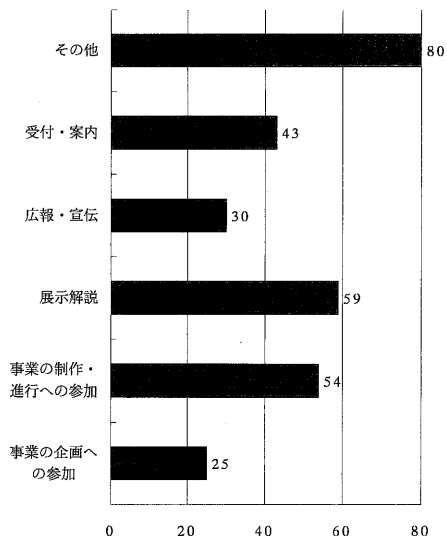
9. ボランティア

「ボランティア」については、回答があった館926館の約2割に当たる167館で「いる」と答えている。



10. ボランティアの業務内容

ボランティアの業務内容をみると、「展示解説」が59館（回答があった167館のうちの35.3%）、「事業の制作・進行への参加」が54館（32.3%）、「受付・案内」が43館（25.7%）、「広報・宣伝」が30館（18.0%）、「事業の企画への参加」が25館（15.0%）となっている。「その他」の内容では、「資料整理」「監視」「図書管理」「教育普及活動」「清掃業務」「喫茶業務」などが見られた。

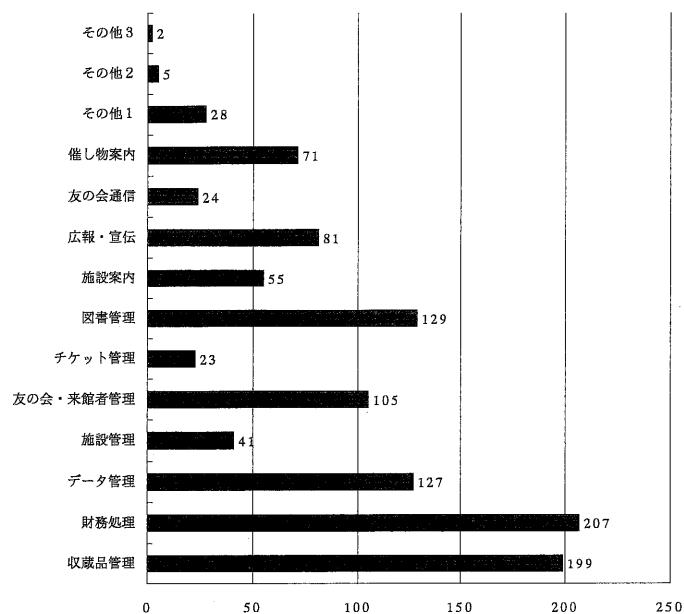


情報システムについて

■管理・案内系システムについて

1. 利用している情報システム

案内系と管理系を比較すると管理系の方が多く、中でも財務処理(207館、回答のあった館全体の24.7%)、収藏品管理(199館、同23.8%)の項目で多く利用されている。



2. 利用している情報システムと他のシステムとの関係

「館内独立のシステムで、外部との関係はない」という回答が、収藏品管理で157館（この項目で回答があったうちの84.9%）、データ管理で110館（91.7%）、来館者管理で89館（94.7%）、図書管理で107館（87.7%）と、各項目において最も多い。

他方、財務処理では、「自治体のシステムに組み込まれている」が99館（52.1%）で最も多く、「館内独立のシステム」73館（38.4%）を上回っている。

また、施設案内、催し物案内では、「自治体のシステムに組み込まれている」が「館内独立のシステム」に次いで多く、それぞれ17館（34.0%）、20館（31.3%）となっている。

	収藏品管理	財務処理	データ管理	施設管理	来館者管理	チケット管理	図書管理	施設案内	広報・宣伝	友の会通信	催し物案内	その他1	その他2	その他3
1 自治体のシステムに組み込まれている	12	99	6	3	3	1	5	17	14	1	20	5	0	
2 併設または隣接のシステムに組み込まれている	7	5	2	3	2	0	7	4	2	0	1	1	1	
3 館内で独立したシステムで、外部との関係はない	157	73	110	27	89	19	107	20	52	14	34	18	5	2
4 その他	9	13	2	1	0	1	3	9	8	0	9	1	0	
計	185	190	120	34	94	21	122	50	76	15	64	25	6	2

3. 情報システムの形態

「個別型」（単体の機器、パソコンなどで完結）が、収藏品管理で126館（この項目で回

アンケート調査結果の概要

答があったうちの67.7%)、データ管理で86館 (69.9%)、来館者管理で73館 (75.3%)、図書管理で81館 (67.5%) と、各項目において最も多い。これに対し、財務処理では、「集中型 (複数の機器がホストコンピュータに連結されている)」が88館 (46.6%) で「個別型」65館 (34.4%) を上回っている。

	収蔵品管理	財務処理	データ管理	施設管理	来館者管理	チケット管理	図書管理	施設案内	広報・宣伝	友の会通信	催し物案内	その他1	その他2	その他3
1 個別型	126	65	86	15	73	12	81	10	38	12	18	14	1	0
2 館内ネットワーク型	29	11	19	4	10	4	18	7	10	2	5	4	3	1
3 館外ネットワーク型	8	14	3	1	1	0	3	17	18	2	13	3	2	0
4 集中型	11	88	8	11	8	4	11	11	6	0	13	5	0	0
5 バッチ型	8	9	6	1	5	1	3	4	3	1	4	0	1	0
6 その他	4	2	1	2	0	0	4	4	7	0	10	0	0	0
計	186	189	123	34	97	21	120	53	82	17	63	26	7	1

4. 来館者による情報システムの利用及び館外からの利用

管理系の項目 (収蔵品管理、財務処理、データ管理、施設管理、来館者管理、チケット管理、図書管理) では、「来館者に全く操作させていない」とする回答が多い。「ほとんどについて来館者が操作可能」という回答は施設案内で27館 (56.3%) と最も多く、次いで催し物案内で18館 (30.0%)、広報・宣伝で14館 (18.7%) となっている。

	収蔵品管理	財務処理	データ管理	施設管理	来館者管理	チケット管理	図書管理	施設案内	広報・宣伝	友の会通信	催し物案内	その他1	その他2	その他3
1 ほとんどについて来館者が利用可能	6	0	4	1	0	1	4	27	14	0	18	6	4	0
2 一部について来館者が利用可能	10	0	4	1	1	0	11	7	7	2	9	2	0	0
3 来館者には全く操作させていない	169	185	112	34	93	18	107	14	54	13	33	17	2	1
計	185	185	120	35	94	19	122	48	75	15	60	25	6	1

5. 情報システムを館外から利用する場合の利用メディア

パソコン通信・インターネットは、施設案内で27館 (54.0%)、広報・宣伝で34館 (43.6%)、催し物案内で28館 (48.3%) に利用されており、他の項目に比べ、その比率が高い。これに対し、専用線やCD-ROM、フロッピーなどの利用は少ない。

	収蔵品管理	財務処理	データ管理	施設管理	来館者管理	チケット管理	図書管理	施設案内	広報・宣伝	友の会通信	催し物案内	その他1	その他2	その他3
1 館外利用はない	149	134	98	29	78	15	95	14	36	13	20	15	2	1
2 パソコン通信、インターネット	8	3	7	1	3	0	7	27	34	2	28	4	3	0
3 専用線	2	23	1	1	3	2	3	3	2	0	4	3	0	1
4 CD-ROM、フロッピーなど	11	4	7	1	4	1	7	2	3	0	1	1	0	0
5 その他	3	4	2	1	0	0	2	4	3	0	5	0	0	0
計	173	168	115	35	88	18	114	50	78	15	58	23	5	2

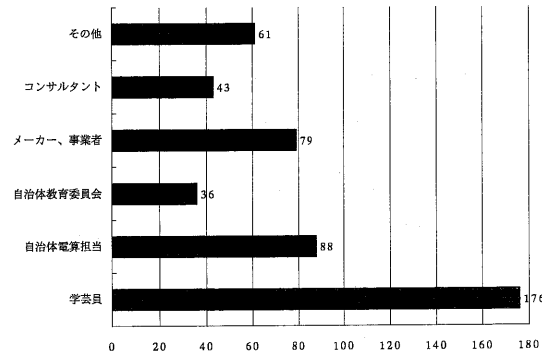
6. 情報システムの更新計画

「抜本的な更新を行う計画がある」の回答が比較的多い項目は、収蔵品管理25館 (14.2%)、データ管理14館 (12.1%) である。

	収蔵品管理	財務処理	データ管理	施設管理	来館者管理	チケット管理	図書管理	施設案内	広報・宣伝	友の会通信	催し物案内	その他1	その他2	その他3
1 小規模な更新を行う計画がある	60	34	28	4	19	5	31	13	26	2	13	5	2	1
2 抜本的な更新を行う計画がある	25	7	14	1	10	1	12	5	8	3	10	1	1	0
3 当面の更新計画はない	91	124	74	26	58	13	74	27	36	8	29	16	3	1
計	176	165	116	31	87	19	117	45	70	13	52	22	6	2

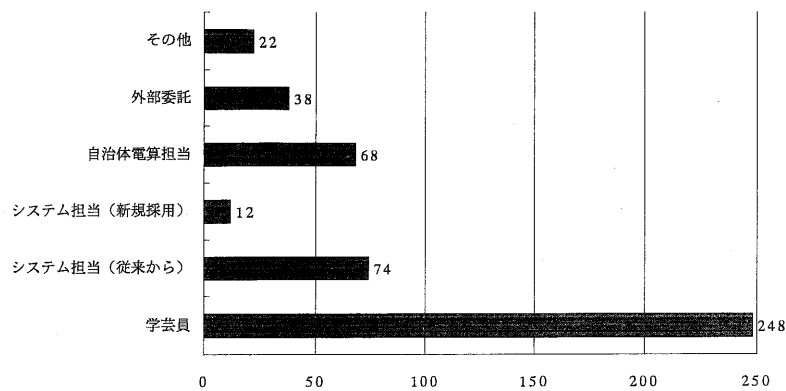
7. 情報システム計画策定者

計画策定者は学芸員と回答した館が176館 (全回答837館の21.0%) と最も多く、次いで自治体の電算担当88館 (10.5%)、メーカー・事業者79館 (9.4%) となっている。



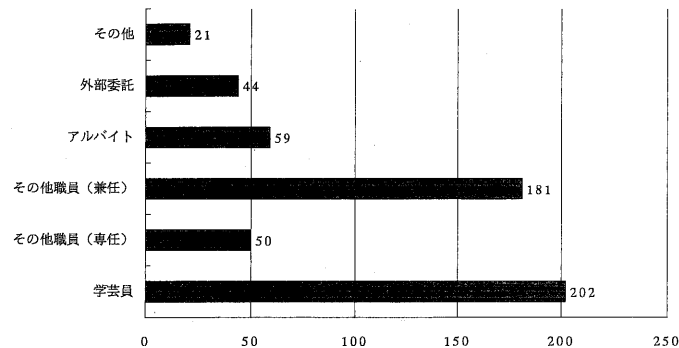
8. 情報システムの管理・運用担当者

学芸員と回答した館が248館（全回答の29.6%）と最も多い。情報システム担当者を新たに採用したケースは12館と少ない。



9. データの更新・加除担当者

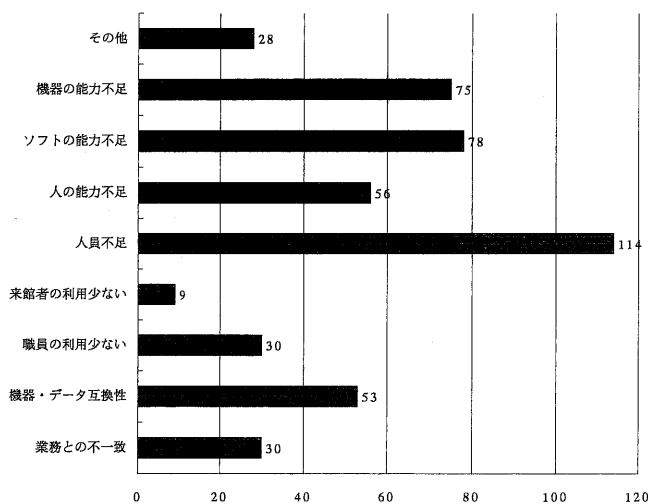
学芸員と回答した館が202館（全回答837館の24.1%）で最も多いが、学芸員以外の職員が他の業務と兼任で担当している館も181館（21.6%）と多い。



10. 情報システム運用上の問題点

回答全体の13.6%に当たる114館が「人員不足」を挙げ、最も多い。また、「ソフトの能力不足」を78館（9.3%）、「機器の能力不足」を56館（6.7%）が問題点として挙げている。

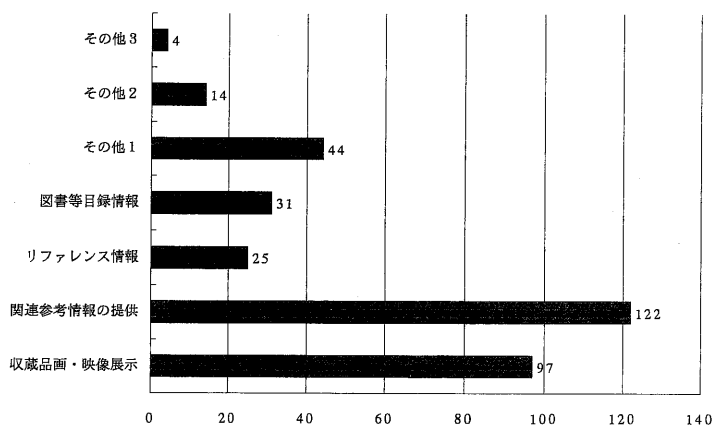
アンケート調査結果の概要



■映像（マルチメディア）系・展示系システムについて

1. 利用している情報システム

映像（マルチメディア）系・展示系システムが最も多く利用されているのは、「展示に関する参考情報の提供」で122館（回答のあった館全体の14.6%）である。次いで「収蔵品・画そのものの映像展示」で97館（11.6%）となっている。



2. 利用している情報システムと他のシステムとの関係

いずれの項目でも「館内で独立しているシステムで、館の外部との関係性はない」が、この項目について回答があったなかの67%から90%を占め、高い割合を示している。

	収蔵品自体の画像・映像の展示	展示に関する参考情報の提供	収蔵品の所在に関する情報提供	図書などの目録情報の提供	その他1	その他2	その他3
1 自治体のシステムに組み込まれている	3	5	1	7	2	0	1
2 併設または隣接のシステムに組み込まれている	2	5	2	2	2	1	0
3 館内で独立したシステムで、外部との関係はない	84	96	19	20	29	11	3
4 その他	4	6	0	1	3	0	0
計	93	112	22	30	36	12	4

3. 情報システムの形態

個別型は、「展示に関する参考情報の提供」（72館、この項目について回答があったなかの67.3%）、「収蔵品自体の画像・映像の展示」（51館、61.4%）に多い。「収蔵品の所在に関する情報提供」では、集中型、個別型、館外ネットワーク型、館内ネットワーク型と回答が分かれている。

	収蔵品自体の画像・映像の展示	展示に関する参考情報の提供	収蔵品の所在に関する情報提供	図書などの目録情報の提供	その他1	その他2	その他3
1 個別型	51	72	8	10	19	5	1
2 館内ネットワーク型	11	11	6	7	6	4	1
3 館外ネットワーク型	7	10	5	5	4	1	1
4 集中型	8	8	3	6	7	2	1
5 バッチ型	6	6	1	1	0	0	0
計	83	107	23	29	36	12	4

4. 来館者による情報システムの利用及び館外からの利用

「収蔵品自体の画像・映像の展示」で62館（この項目について回答があったなかの67.4%）、「展示に関する参考情報の提供」で78館（66.7%）、「収蔵品の所在に関する情報提供」で12館（60%）が、「ほとんどについて来館者が利用可能」と回答しており、管理系・案内系システムに比べ、来館者自らアクセスできるシステムになっていることがうかがわれる。

	収蔵品自体の画像・映像の展示	展示に関する参考情報の提供	収蔵品の所在に関する情報提供	図書などの目録情報の提供	その他1	その他2	その他3
1 ほとんどについて来館者が利用可能	62	78	12	12	27	11	3
2 一部について来館者が利用可能	8	13	5	5	6	1	0
3 来館者には全く操作させていない	22	26	3	11	6	0	1
計	92	117	20	28	39	12	4

5. 情報の形態

「文字、画像（静止画、動画）、音声（音楽）の複合形態」が「展示に関する参考情報の提供」で64館（この項目で回答があったなかの49.2%）、「収蔵品自体の画像・映像の展示」で49館（45.0%）と最も多く、「文字（のみ）」は「図書などの目録情報の提供」で21館（70.0%）と最も多い。「収蔵品の所在に関する情報提供」では、「文字」と「複合形態」がほぼ同割合となっている。

	収蔵品自体の画像・映像の展示	展示に関する参考情報の提供	収蔵品の所在に関する情報提供	図書などの目録情報の提供	その他1	その他2	その他3
1 文字	16	13	9	21	4	2	1
2 画像（静止画）	24	19	6	3	8	3	1
3 画像（動画）	14	28	0	2	6	3	1
4 音声（音楽）	4	4	0	1	1	0	0
5 1～4の複合した形	49	64	2	23	6	6	1
6 その他	2	2	0	1	1	0	1
計	109	130	23	30	43	14	5

6. 映像データベースの形態

「収蔵品自体の画像・映像の展示」では、「デジタル圧縮ファイル」が34館（この項目で回答があったなかの35.1%）で最も多く、次いで「レーザーディスク」が24館（24.7%）となっており、「展示に関する参考情報の提供」では逆に「レーザーディスク」46館（34.8%）、「デジタル圧縮ファイル」35館（26.5%）の順となっている。全体的に、デジタル媒体の導入が進んでいる傾向がうかがわれる。

アンケート調査結果の概要

	収蔵品自体の画像・映像の展示	展示に関する参考情報の提供	収蔵品の所在に関する情報提供	図書などの目録情報の提供	その他1	その他2	その他3
1 フィルム	2	0	0	2	0	0	0
2 ビデオテープ	13	24	0	2	6	2	0
3 CD-ROM	8	12	1	1	5	0	0
4 レーザーディスク	24	46	3	0	10	4	1
5 デジタル圧縮ファイル	34	35	9	5	15	4	2
6 なし	8	10	4	13	1	0	0
7 その他	8	5	0	0	4	0	1
計	97	132	17	23	41	10	4

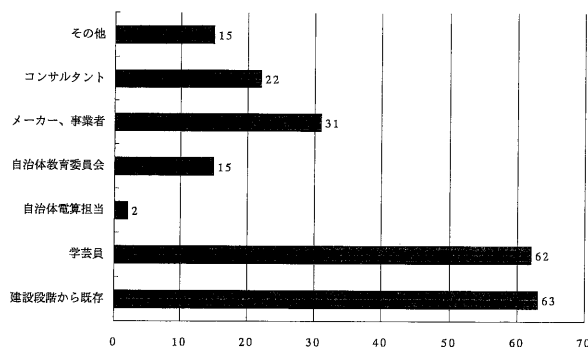
7. 情報システムの更新計画

「当面の更新計画はない」という回答が多いが、「小規模な更新を行う計画がある」という回答も比較的多く、「展示に関する参考情報の提供」では32館（この項目で回答があったなかの37.6%）、「収蔵品自体の画像・映像の展示」では31館（29.0%）、「収蔵品の所在に関する情報提供」で7館（35.0%）にのぼっている。

	収蔵品自体の画像・映像の展示	展示に関する参考情報の提供	収蔵品の所在に関する情報提供	図書などの目録情報の提供	その他1	その他2	その他3
1 小規模な更新を行う計画がある	32	31	7	7	9	5	0
2 抜本的な更新を行う計画がある	4	11	1	4	6	3	2
3 当面の更新計画はない	49	65	12	14	23	4	2
計	85	107	20	25	38	12	4

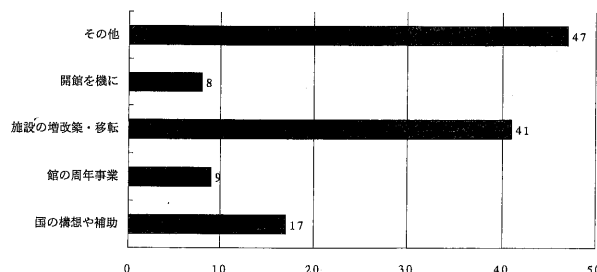
8. 情報システム計画策定者

（システム計画が）「館の建設段階から組み込まれていた」という回答が63館（全体回答の7.5%）と最も多く、学芸員と回答した館も62館（7.4%）とほぼ同数ある。



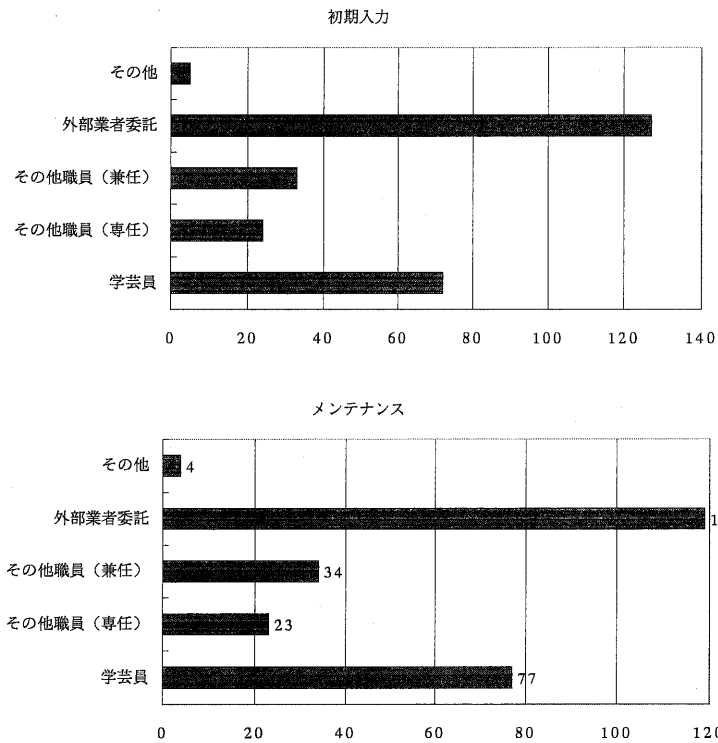
9. 情報システム計画策定のきっかけ

「施設の増改築・移転」が41館（この項目で回答があったなかの33.6%）と多く、「国の構想や補助」が17館（13.9%）で続いている。



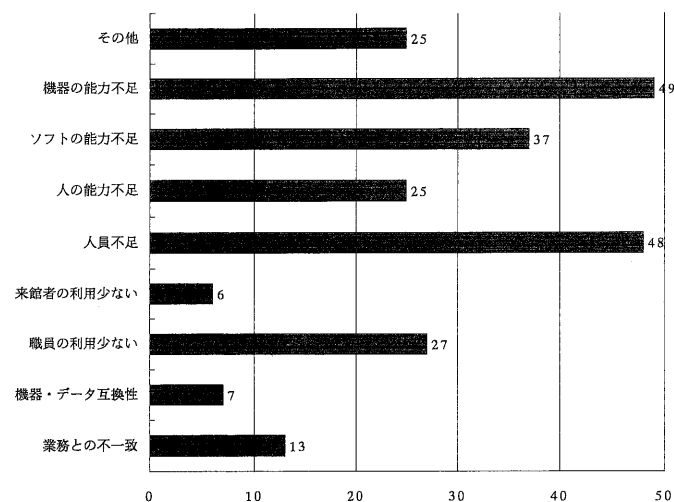
10. 初期入力、メンテナンス担当者

初期入力では127館（全回答の15.2%）、メンテナンスでは119館（14.2%）が、「外部の業者に委託」と回答しており、最も多い。次いで、「学芸員」、「その他の職員（兼任）」の順となっている。



11. 情報システムの問題点

システムの問題点として、49館が「機器の能力不足」を、48館が「人員不足」を、37館が「ソフトの能力不足」を挙げている。



12. 現在、利用していない情報システムの必要性

施設で利用していないシステムについては、「必要性はあるが支障があって進展していない」と回答した館が378館（この項目で回答があったなかの49.5%）にのぼり、「現在、検討・計画している」が208館（27.3%）となっている。「進展していない理由」として、336館が「予算不足」を、225館が「人員不足」を挙げている。

